

「鋼構造架設設計施工の照査方法の合理化に関する調査研究小委員会」の委員公募

土木学会鋼構造委員会に以下の小委員会を設置いたします。委員会の設立趣旨をご理解くだされ、調査研究活動へ積極的にご参加頂ける委員を募集いたします。奮ってご応募くださいますようお願いいたします。

1. 委員会名称

「鋼構造架設設計施工の照査方法の合理化に関する調査研究小委員会」

2. 委員構成

委員長 野阪 克義（立命館大学）
副委員長 永谷 秀樹（宮地エンジニアリング（株））
幹事長 岸 祐介（東京都立大学）
委員 公募による（オブザーバーを含む）

3. 委員会設立の趣旨

鋼構造架設設計施工指針は、鋼構造の建設等の関係者に、実務の参考として広く利用されており、2024年版として12年ぶりに2025年1月に改定された。

鋼構造の架設設計施工に関する今後の様々なニーズに応じて、数年後に指針の改定を予定するところであるが、現時点における課題として、「鋼橋の送出し架設時の腹板座屈照査の統一化」、「鋼部材吊り金具の照査における不均等や応力集中係数の合理化」がある。これらの課題を部分係数法を導入している鋼・合成構造標準示方書との整合を図りつつ、海外基準を参考にしながら検討することを考える。上記の課題の他に、実務者に活用されている現行指針（2024年版）に対する問い合わせ対応、改定ニーズの検討も行う。

以上を踏まえ、次の指針改定に反映することを目的とした調査研究を行うために本小委員会を設立する。

[調査研究の成果イメージ]

以下に関する報告書（鋼構造委員会デジタルアーカイブス）

- ・ 鋼橋の送出し架設時の腹板座屈照査の統一化
- ・ 鋼部材吊り金具の照査における不均等や応力集中係数の合理化

4. 活動内容

本小委員会は、取り組む課題が具体的に絞られていることから、WG（ワーキンググループ）による活動ではなく、小委員会全体での活動を予定しています。小委員会は、年4回程度、場所は土木学会（東京 四ツ谷）を基本に地方開催を含むものとします。

なお、小委員会の活動のための手当や旅費等は支給されません。

5. 活動期間

2026年10月～2029年9月（3年間）

6. 公募の締切日

2026 年 9 月 4 日（金）

7. 本小委員会で活躍いただきたい方

- ・ 本小委員会で取り組む課題に興味がある方
- ・ その課題解決に意欲的な方
- ・ 鋼構造の架設設計施工に精通している方
- ・ この小委員会の調査研究活動を通して、色々な立場の方との人脈を深め、協働したい方
- ・ 若手の方で、この小委員会の調査研究活動の経験から自身のステップアップに繋げたい方

8. 応募方法

小委員会に委員として参加を希望する方は、(1)氏名、(2)年齢、(3)所属、(4)連絡先（住所、電話番号、E-mailアドレス）、(5)小委員会活動に貢献できると思われる技術や知見等について、下記のGoogleFormsよりご応募ください。

なお、20名程度の委員構成を予定しております。応募者多数の場合には参加いただけない場合もございますので、予めご承知おきください。

<応募先>

下記 GoogleForms よりご応募ください。

<https://forms.gle/QfzBEtaorfq2zXV9>

<問合せ先>

本小委員会への応募に際して、ご質問が御座いましたら、下記問合せ先までE-mailにてご連絡ください。

宛先：下記、幹事長＋連絡幹事

件名：鋼構造架設設計施工の照査方法の合理化に関する調査研究小委員会の委員公募

幹事長 岸 祐介

東京都立大学 都市環境学部 都市基盤環境学科

E-mail: kishi@tmu.ac.jp

連絡幹事 段下 義典

川田工業株式会社 橋梁事業部 技術統括部 大阪技術部

E-mail: yoshinori.danshita@kawada.co.jp

以上